

平成 18 年度病害虫発生予察特殊報第 4 号

平成 18 年 12 月 5 日

埼玉県病害虫防除所

ミョウガにおけるクリバネアザミウマの発生について *Hercinothrips femoralis* (REUTER)

1 発生経過

平成 18 年 10 月、県内の施設で水耕栽培されているミョウガにアザミウマの寄生が認められた。

このアザミウマを東京農業大学岡島秀治教授に同定依頼したところ、本県では未確認だった「クリバネアザミウマ」と判明した。

2 形態及び発生生態

(1) 形態

成虫の体長は 1.2 ~ 1.5mm。頭部は複眼と単眼の間が黄色 ~ 茶色、前翅は褐色で基部と先端が淡色である。成虫を実体顕微鏡で観察すると、体色は褐色、頭部は赤褐色で複眼の間に細かい網目模様が見える。

(2) 生態及び発生状況

本種は熱帯から温帯に分布しており、24 での発育期間は 24 日とされている。雄成虫は発見されておらず、雌成虫のみで単為生殖する。

国内では平成 4 年頃から施設内での発生が報告され、最近では、ディフェンバキア（静岡県：平成 13 年）、ピーマン・シシトウ（高知県：平成 15 年）、クワイ・アガパンサス（神奈川県：平成 15 年）、ナス苗（岡山県：平成 16 年）ポトス・モンステラ（香川県：平成 17 年）での発生被害が報告されている。

(3) 被害

本種は葉を舂めるように吸汁加害し、吸汁加害が進むと、かすり症状やえそ斑となる。

本種の寄主範囲は広く、海外ではコショウ科、イラクサ科、アカザ科、バラ科、サボテン科、ウコギ科、サクラソウ科、キョウチクトウ科、シソ科、ナス科、オオバコ科、キク科、イネ科、カヤツリグサ科、サトイモ科、アナナス科、ツククサ科、ユリ科、ヒガンバナ科、バショウ科、ラン科で報告がある。

3 防除対策

本種は各種薬剤に対する感受性が高いと思われるので、アザミウマ類に登録のある薬剤により防除を行う。

< 参 考 >

写真1 成虫



写真2 幼虫



写真3 成虫プレパラート標本



写真4 葉の食害状況